



食を通じたまちおこしの理論を説明する「豊川いなり寿司で豊川市をもりあげ隊」＝田原市泉小学校で

みんなが宣伝部長

田原泉小で豊川もりあげ隊の授業

「食でまちおこし」児童学ぶ

地元特産の大葉を使ったご当地グルメ「大葉の塩焼きそば」で地域活性化に取り組む田原市泉小学校の5・6年生が27日、豊川市の「豊川いなり寿司で豊川市をもりあげ隊」に食を通じたまちおこしの理論を学んだ。

「大葉の塩焼きそば」は田原市内の飲食店などでメニュー化されており、地元では人気グルメとして定着している。B1ー1グランプリなどで実績のある、まちおこしのプロに教わることにした。

この日は、もりあげ隊の林宣宏副隊長と山本真之隊員の2人が同校を訪れて授業。隊員としての活動内容を説明した上で「継続することが重要。商品を食べってもらうと同時に、泉地区をPRすることが肝心。地元の特徴を理解し、他の地区と比較しながら泉の良いところを見つ

けること」と呼び掛けた。また「携わるお店と大葉を作る農家、みんなが喜んでもらえる状況をつくるのが大切。みんなが宣伝部長という自覚、それがまちづくりにつながる」と結んだ。

(千葉敬也)